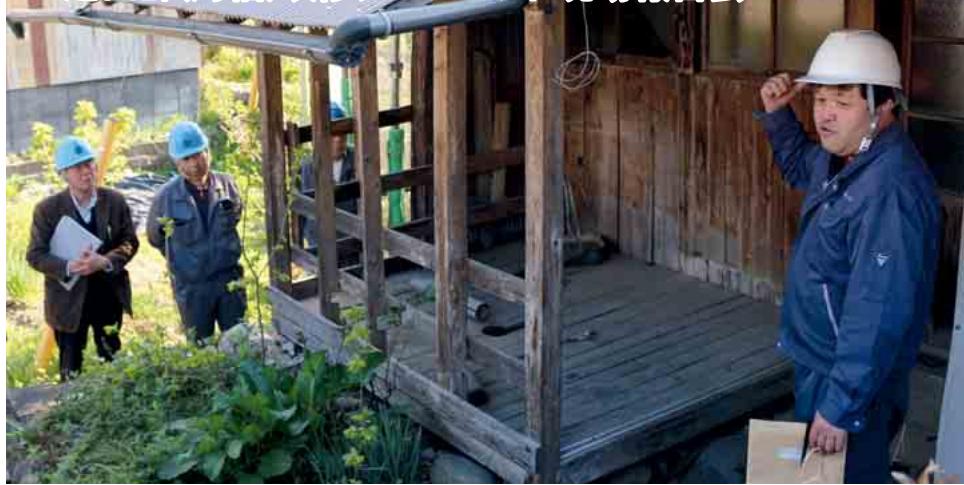


池田邸(舟宿)改修始まる

池田邸(舟宿)改修プロジェクト現場報告会



改修工事の説明に耳を傾ける参加者



町並みの景観のためにも改修が待ち遠しい



倒壊の危険がある建物内は吹き抜け状態

4月13日、池田邸（舟宿）改修プロジェクトの現場報告会が行われました。池田邸は町並み保存地区の中ほどにあり、旭川に面した部分には高瀬舟の船頭が利用していたとされる舟宿が建っています。古い石組みに建つ白壁の舟宿は今では台風などで倒壊寸前になつていて、改修工事が4月に始まりました。改修によって池田邸が勝山のシンボルとなるよう、プロジェクトは始まつたばかりです。

3月29日、日名の善福寺で一日こぼんさん修行が行われました。この修行は、寺の檀家の女性たちで作る善福寺密教婦人会が、子どもたちに、あまり訪れる機会のない寺に来てもらおうと、命の大切さや感謝の心を養つてもらおうと、春休みの時期に行っています。修行では、数珠を作ったり、お釈迦様の教えや般若心経を唱えたりしました。子どもたちは、新学期に向けて気持ちを引き締める良い機会になつたようです。

お寺の修行がんばるぞ！
一日こぼんさん修行



寺院の中に響き渡る子供たちの般若心経



特産品を詰め合わせた記念品を受け取りにっこり

3月24日、大阪府高槻市にある直売所「真庭市場」の来客数が100万人を突破し、記念セレモニーが開かれました。「真庭市場」は平成24年から仕入れた野菜などを販売しています。この日、記念品を受け取ることになった横山和子さんは美咲町の出身で、「真庭市場」の常連客とのことです。

新鮮な真庭を召し上がる
真庭市場の来客100万人突破

3/24 中津井雛の文化まつり

地域の有志でつくる中津井やまびこ会が、地域活性化を目的に毎年開いている中津井雛の文化まつり。民家に並ぶ雛人形や江戸時代の嫁入り行列の再現に、会場の中津井陣屋一帯が華やかな雰囲気に包まれました。



3/26 ひ孫の成長を楽しみに

竹元よし江さん（江川）が3月30日に100歳を迎られました。天気の良い日は縁側で編み物をしたり、庭の草取りをして元気に過ごされています。ひ孫さんのビデオや写真を見ることが楽しみなのだそうです。



3/31 うるし体験プロジェクト完成会

勝山文化往来館ひしおでうるし体験プロジェクトの完成会が開かれました。小学生から高校生まで12人が参加し、昨年8月から全8回の行程でものづくりを体験。出来上がった漆器でケーキを楽しみました。



4/1 蒜山で山焼き

蒜山上徳山地内で山焼きが行われました。作業には地元集落や津黒いきものふれあいの里からのスタッフ約20人のほか、ボランティア約40人が参加。枯れたススキなどに点火し、約60ヶ所を焼きました。



4/19 長寿の秘訣は手足を意識して動かすこと

鈴木一二三さん（釘貫小川）が4月10日に百歳を迎えられました。95歳まで畑仕事をされるなど足腰が丈夫で、今も手足を動かすことを意識しておられる鈴木さん。テレビを見るなど、のんびりとお元気にお過ごしです。



地域の宝を守るために汗を流して手入れするメンバー

3月30日、上水田にある真庭市指定文化財の荒木山古墳で柴掻きが行われました。この日は、「荒木山の古墳を顕彰する会」のメンバー12人が、荒木山古墳の見学路や古墳の周辺の木を切つていきました。この活動は、荒木山の古墳を顕彰する会が平成28年に発足してから毎年、35人の会員により春と秋に行われていて、会では古墳という貴重な財産を多くの人に知つてもらい、次の世代に繋げていきたいとしています。

**荒木山の古墳をきれいに
荒木山の古墳を顕彰する会**



樺西和紙の今までとこれからを語り合う参加者

4月15日、樺西にある伏ヶ茅公民館で樺西和紙と地域の夢を語る集いが開かれ、樺西和紙生産組合の組合員や地元の協力者など15人が出席しました。生産組合は昭和61年に設立し翌年、樺西和紙工房が完成。それから30余年、創造性に富むデザインの作品制作や、樺邑小学校の児童が卒業証書用の和紙の紙漉き体験などをしています。集まつた人々たちは設立から今日までを振り返ると共に、これからの夢を語り合いました。

**樺西和紙と地域の夢を語る集い
樺西和紙の夢は広がる**

新緑・春の芽生えを感じ

●編集後記
●VEGETABLE OIL INK

Maniwa 28

花の山寺普門寺 春まつり

日 4月29日(日)~5月6日(日)

所 普門寺周辺(田原山上2127)

推定樹齢130年の日本シャクナゲの開花時に合わせて開催。地元団体による特産品等の販売が行われるほか、囲炉裏のある茅葺き屋根の『花見庵』では地元で採れた山菜や花を天ぷらにした名物そば、『門前茶屋』では『草だんご』『たかさぎせんざい』など、期間中毎日食べることができます。

問 普門寺 0867-52-0739



美甘・山菜収穫体験イベント

日 5月19日(土)

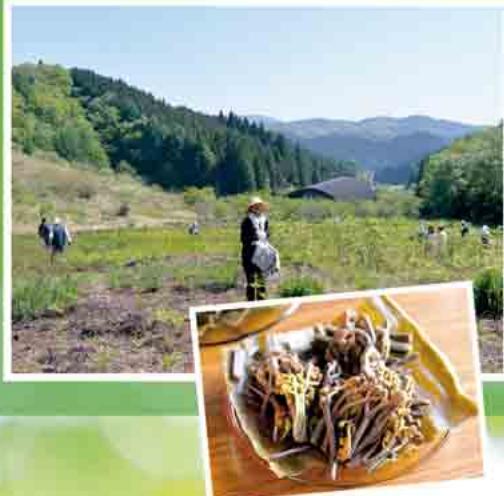
所 美甘クリエイト菅谷(美甘1050-2)

参加料金:2,500円(ワラビ収穫、昼食付)

昨年より復活した美甘の山焼き。大地からは、ワラビ、ここのみ、タラの芽など、沢山の山菜が芽吹き、ワラビの収穫体験は大好評です。

収穫後は、地元の方よりアグ抜きの実践や、美味しい山菜料理の作り方の説明もあります。昼食は、美甘食材による『山菜御膳』をお楽しみください。

問 真庭観光局 0867-45-7111



富原お茶まつり

日 5月20日(日)

所 富原小学校(若代1948)

富原地区は、古から知られたお茶の産地。今年も新茶の摘み取りに合わせてお茶まつりを開催。当日は、お茶摘みや手もみ製茶の体験もでき、爽やかな香りとコクのある新茶と、温かいおもてなしで日頃の疲れもリフレッシュできます。

問 勝山富原公民館 0867-46-2001

真庭市勝山振興局 0867-44-2607



4月から広報担当になりました。取材・写真撮影・編集作業とわからないことばかりで悪戦苦闘しています。初取材では「この写真を撮らなければ」と撮影しているとアクシデントが。写真が使えない状況で慌てていると、関係者の人の機転と協力で、何とか撮影することができました。今後も写真を撮り、悩む姿をお見せします。よろしくお願ひします。

佐野



▲ PN kicorin san

1年間一緒に広報真庭を作ってきた升本先輩が人事異動で湯原振興局へ。毎月のスケジュール管理から撮影に文章の校正、全てにおいて頼りにしていたのですが。ここから先の1年間は、スポーツ・文化振興課から異動してきた佐野とともに広報真庭の作成をいたします。皆さま、今年度もよろしくお願いいたします。佐野さん、頼りにしていますよ。

嶋田



この広報紙は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。



この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。

この広報紙は、再生紙を使用しています。